

大分市立幼稚園

10年で10園程度減

大分市教委は、市内に三十五ある市立幼稚園を本年度から十年間で十園程度、減らす方針で検討している。市の幼児教育の指針となる「市幼児教育振興計画」に盛り込む予定。市教委は、民間委員のいる検討委員会で意向を表明しているが、市民に意見を求めるため公表中の素案には、統廃合して削減する園の数を載せていない。市教委は「委員の了承を得て、園数は未掲載にした。近い時期に園数を記載した本計画を教育長に報告したい」としている。

振興計画の素案では▽単理事)で、市教委は「大分学級(定員三十人)が二年市には、ほかの中核市に連続した後、再度単学級と比べ市立と私立の幼稚園がなった場合▽一中学校区内多い」ことを挙げ、財政な市立幼稚園が複数ある場合を理由に市立幼稚園の統廃合、その一部一のいずれか廃合を打ち出し「統廃合に当たる園が統廃合の検討で確保される財源の一部対象になる。」

市幼児教育振興検討委員者へ支払う就園奨励費に充てたい」とした。前田会長

同一中学校区に複数ある市立幼稚園

中学校区	幼稚園名
南大分	南大分、豊府
滝尾	滝尾、森岡
城東	東大分、津留、舞鶴
東陽	別保、高田
大東	明治、松岡
植田南	寒田、東植田
植田	植田、宗方
坂ノ市	丹生、坂ノ市
神崎	こうざき、大志生木
野津原	野津原、野津原中央、野津原西部、今市

単数学級(特別支援学級を除く)の幼稚園 (5月1日現在)

南大分、森岡、東大分、三佐、戸次、植田、敷戸、丹生、こうざき、大志生木(休園)、佐賀岡、野津原中央、野津原西部、今市(休園)

財政難など理由に検討

市教委 園数は記載せず

は「園数の決定は行政側の責任」と、委員会は統廃合数を検討しないことにした。

事務局の別木達彦市教委教育企画課長は「統廃合の園数に委員が言及するのは『負担が大きい』と判断した。統廃合予定の園数が、独り歩きするのを避けたい」と素案に園数を盛り込まなかった理由を説明している。

市教委は、市幼児教育振興計画について、五月末まで市民の意見を受け付けるパブリックコメントを実施中。計画の素案は市ホームページなどで見ることが出来る。問い合わせ先は、市教委教育企画課(☎097・5337・5789)。

会など計六十一(石町)②中津(八幡)③計野(天一団体から計一在)

土星の写真に見入る児童

定められた 第一回は体育館で

大きく育ってま

大八 哲夫校 人が 鶴崎橋 ギの